

夢

西台こども館

〒174-0045 東京都板橋区西台1-27-10 TEL 03-5920-1122 FAX 03-5945-4152
HP <http://shouhaku.jp/> 編集・発行/西台こども館 編集委員

自然に生かされて

西台こども館 園長 丸山文男

若葉が青葉に移っていくほんのひととき、そんな新緑の季節、私たちはこれを愛で、こころ和む喜びをどれだけ感じているでしょうか。

西台こども館はそんな環境にあります。傾斜地に建つ三階建ての建物、決して広い敷地ではありませんが、周囲は緑がいっぱいです。南側の全ての部屋からは帯状に広がる「西台公園」のやわらかい緑がいっぱいの春の季節から、落葉し、枝を残すだけの冬の季節まで、まさに四季の色を眺めることができます。

また、庭ではユツト名とした松「まつ」、榎「かしわ」、銀杏「いちよう」、紅葉「もみじ」に加え、楠、辛夷、そしてメタセコイヤの木々が枝を大きく伸ばしています。そしてこれらの樹木に加え、今年は春先から花づくりの準備をはじめ、夏の花である朝顔（アサガオ）、向日葵（ヒマワリ）、鳳仙花（ホウセンカ）も大きく育っています。きつと皆様が本通信を手にとられる頃は、赤や黄色や青といった鮮やかな色に染まっているようにしたいと思っています。

さて、二年目を迎えた西台こども館ですが、この二年

の取り組みの中で組織の形が大枠で見えてきました。ことを進めていく上でどのような流れがあるのか。どのように進めていくことが必要か。また組織としてのそれぞれの役割と権限はこれだよいか。更なる円滑な運営を目指して参ります。

幸い、前年度は大きな事故もなく乗り越えることができたのではないかと受け止めております。当所での生活に戸惑い、身を硬くしていた子どもたちも、少しずつ慣れて来、笑顔いっぱいの子が見られるようになり、今ではいたずらを繰り返し、大人を困らせる毎日です。私たちは彼らがより一層、安心して、そしてびやかに育っていくよう取り組んでいく所存でございます。

一年目の緊張と不安は怖さを伴うものでしたが、同時に自分たちがこの現場をつくり、支えていくんだという思いは何ともワクワクするもので、ある種の高揚感を覚えた取り組みでした。そして今年はこれに甘んずることなく新たな子どもとの出会いや、より良い関係の構築に努めて参りますので、どうぞ、今後ともご指導、ご支援下さるよう、お願い申し上げます。

子どもたちがいろいろな樹木と草花に囲まれ、この豊かな自然の息吹を力にして生きていきますように…。

一年を振り返って

「もみじ」ユニット職員

渡邊ちえみ

ました。

改めて一年を振り返ってみる

子どもたちと一緒に過ごすようになって早くも2年目になりました。昨年度は西台こども館が開所して1年目ということ

と、失敗や苦労も多く反省の多い一年でしたが、そんな大変な事も含めすべてが楽しくあつと言

で、こどもたちの入所が続き、

「怒ったらユニットの大人の中

今まで高齢児とほとんど関わり

で一番怖い！」なんてことを言

りがなかった私はどう向き合っ

われながらも、笑顔を見せてく

ていくかで苦労しました。子ども

今の気持ちを忘れずに向き合っ

もたちと関係を築いていくには

ていききたいです。園長にはよく

焦らずゆっくりと頭では分かっ

「自分の将来のことも考えて…」

ていても、実際に関わってみる

と言われますが、結婚しても、

と上手くいかないこともあり、

ずっと西台こども館で働き続

悩んだこともありました。しか

けることができたらいいなと

し、いつの間にか一緒に笑って話

思っています。

をしたり冗談を言い合えるよ

うになつていたり、構えず自

然に過ごしていくことで関係も

自然と築いていけるものである

というこを、この一年で実感し

「本児の気持ち」

「かしわ」ユニット職員

檜山かおり

「かしわ」ユニットの振り返り

で、特に「この一年で変わったなあ」と思うのは、こども達が相手を大切に思い、相手をいたわる気持ちが芽生えたということ

私は、この「かしわ」ユニットで働けて良かったと本当に思ってい

ます。まず、こども達と職員が底抜けに明るい。悪く言えば、うる

さいに尽きる？ 私としては明

さく見えて、心が温かくなります。

るいに尽きると思いたいのです

そして、相手の為に涙を流す。

が…静かなときがない？ たまに

この気持ち、この行動は、そう簡

は静かですよ、人気のある食事の

単に身に付く事でもなく、大人

際は、そりゃあー、もう静か。でも

の私達でも本当に相手を思いや

食べ終わると…それはご想像

り泣く事は難しい事もあり、素

にお任せします。さて、振り返り

直に泣きたい時は泣いてもいい

なのですが、以前はこども同士の

んだよと身をもって教えてくれ

口論があり、素直に謝れない事が

ている気がします。

あったのですが、今は口論も減

相手をいたわる気持ちを何時

り、口論したとしても素直に相

までも大切に持ち続けてもらい

手に謝る行動が身につき、その後

たいと思っています。私達、職員

は以前にも増して絆が生まれ、

はこども達のお陰で成長出来、

仲良くしている事です。その上

こども達には感謝の気持ちで

いっしょです。





はじめまして

私たちは「第三者委員」です。

田口倫子

はじめましてといわれても…と思いますよね。まずは自己紹介から。

私たちは弁護士(澤田稔さん)、大学教員(稲垣美加子さん)、元小学校長(私、田口)の三人で構成されています。西台こども館の理事や職員等の関係者でも、暮らしている子どもたちの親戚でもありません。全くニュートラルな立場(第三者)です。

私たちの役割は館での暮らしの中で、子どもたちの人権がきちんと尊重されているかをアドバイスしたりすることにあります。ちょうど去年の今頃、丸山館長(以下園長)さんからお話がありました。

「私たちは外部の意見を謙虚に受け止め、毎日の子どもとの関わりを大切にしていきたい。」という言葉在意気を感じ、役目を引き受けました。

今までに行動してきたことは、

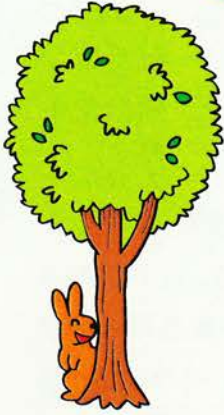
- ・意見箱等の設置(子どもの要望や気持ちを表明する手立て)→その集約→第三者委員の意見→改善結果の報告という流れを作り上げた。
- ・私たちと子ども達の顔合わせ(意見交換)や食事会…人権が侵害されたと感じたとき、助ける人がちゃんといるということ子どもたちにはっきりと知ってもらった。
- ・子どものどんな些細な願いでも丸山園長(苦情受付責任者)に具体的な解答を要求していく。

一年間の活動を通して、園長をはじめ職員の誠実さを感じています。

忙しい中、園や学校、町会のイベントにも積極的に関わり、子ども達の居心地のいい場所を広げてやろうとする努力も評価できます。

これからもユニット家族の生活がしっかりと健やかな日々であるよう、見守っていきます。

西台こども館地域紹介



西台こども館の
周辺地域をご紹介します。



西台中学校

登校している中学校です。
歩いて15分程です。

首都高速 5号池袋線



志村第五小学校

登校している小学校です。
歩いて5分程です。



西台図書館

歩いて10分程にある、図書館です。
子ども達が借りるのはもちろん、
2週間に1度、ユニットごと
にオススメの本を持ってきてくれます。



徳丸小学校

登校している小学校です。
歩いて15分程です。



徳丸幼稚園

登園している幼稚園です。
歩いて15分程です。



サティ(大型スーパー)

駅前にある大きなスーパーです。
子ども達は本やおもちゃなどを、
職員は生活用品を買っています。

西台こども館



交番



西台公園

緑が多く残っている公園です。
こども館のすぐそばにあります。

環八通り

←成増

東武練馬駅

東武東上線

池袋→

地域交流行事



バーベキュー

今年の地域交流は6月7日に、近隣の方をお呼びし、実施いたしました。バーベキューや綿あめを用意し、皆でゲーム（射的、ボーリング）等をし、楽しみました。子ども達とたくさんのふれあいの場面も見られました。



ゲームの景品です。



看板も子どもたちが作りました。



ゲームは大人気で、行列ができました。



バーベキューは調理の手作りです。

イモ掘り

地域交流行事の後、向かいの家で育ったジャガイモを皆で掘らせていただきました。皆泥だらけになりながら喜んで掘っていました。ありがとうございました。



ユニツト紹介

～まつ～

「まつユニット」は、現在9名の子ども達が、生活をしていきます。西台こども館が1年たちお家に帰った子もいれば、新しくまつに来た子もおり、どんどんまつの間が増え、今では毎日が大騒ぎです。小学生が8名中学生が1名で年齢構成も高いので、ケンカをすることも多いですが、勉強を教えあう姿を見ると、なんともほほえましく思います。まつのお誕生日パーティーは、子どもが生まれた特別な日として、職員が誕生日の子どもの大好きな食事を作り、子どもたちの出し物にゲームと大イベントです。お笑いの真似をする子やキャラクターになりきって踊る子どもたちと、事前に自分のお部屋で

隠れて練習を一生懸命行う姿に、ちよつぷり感動です。その中でも、誕生日の子どもへのお祝いの言葉を一人ずつ贈る際には、普段は言えない子どもたちの素直な「ありがとう、ごめんね、がんばってね」の言葉に驚かされます。子どもたちと毎日のように過ごしていると、気づかずに過ぎていくものですが、日々成長し子どもたちなりにたくさんのお事を考え吸収しているのですね。



まつ職員から



まつの子ども達は、毎日とても元気がよくにぎやかに暮らしています。仲が良すぎてケンカになることも多いけど、少しずつ互いを理解しあい、更に仲良くなれるよう一人ひとりが頑張っています。そしてまつの子ども達はドッジボールも大好き!大会に向けて一生懸命練習に取り組んでいます。まつの子ども達との生活の中で、私も多くのことを学び、成長していきたいと思っています 【後藤】

「優しい眼差し」、「優しい声」…大人の関わり方で子ども達の表情も変わってくると思います。「やっぱりまつがほっとできる」と子ども達の口から聞かれるように、大人も子どもも少しずつ力を出し合って良いユニットを作りたいものです。 【鈴木】

はじめまして、にぎやかなまつの大人です。手作りおやつで、こども達の心が少しでも“嬉しく”なるように頑張っています。 【近藤】

子ども達の内面にも、しっかりと注目し、辛い、悔しい、楽しい、嬉しいを分かち合える職員でいたいと思っています。 【蒲池】



一年が経過して…

津田いずみ

二十余年勤めた乳児院から心機二転、学生時代からの夢を叶えようと初めて西台こども館を訪れたのは、ちょうど庭の河津桜がほころび始める頃でした。真新しい庭に、沢山の子もたちが行き来している様子を想像しながら、わくわく、どきどきしたのを覚えています。

あれから一年、ピンクの河津桜の花びらは、おままごとのケーキの飾りになり、わんぱく者がよじ登るメタセコイヤの木は、グングン成長して初夏の日差しをやさしく遮ってくれています。

すべてが一からのスタートでしたが、職員それぞれが自分のキャリアを生かし、意欲的に子どもたちに臨んでい

く姿勢は、私自身とても刺激になりました。子どもたちの中には、家族と離れて暮らす寂しさや、自分に自信が持てずに不安を抱えている児がたくさんいます。頭を悩ませる事も多々ありますが、「今」だけの事ではなく「いつか」の為に、子ども一人一人と丁寧な関わりを積み重ねていきたいと思っています。

泣いたり笑ったり、色々な事がありました。地域の方の応援や、様々な方々の支えを実感した貴重な一年でした。



平成20年度 寄付・寄贈者ご芳名

温かいご支援、ご芳志まことにありがとうございました。

◎寄付・物品寄贈者(敬称略・順不同)

宮嶋宏幸／秋葉英子／社団法人 東京馬主協会／岡橋生幸／丸山敏子
／田中稔／難波明美／田後真理／(株)ふじもと／善意銀行 前田義秀／
五十嵐恵美子／佐藤安／村上仁志／竹内弘／竹内勇／内田貞治／白石
好男／山口コト／佐藤正昭／山田登／戸田朱美／サンファン平和台店・光が
丘店／ウインズインターナショナル／チュチュアンナ／ピックカメラ

平成20年度

決算報告

法人本部

(収入)	(平成20年度)
利息収入	107,551
合計	107,551
(支出)	
人件費支出	200,000
事務費支出	4,695,122
繰入金支出	32,427,793
合計	37,322,915
経常活動資金収支差額	△37,215,364

当期資金収支差額	△37,215,364
前期末資金収支差額	78,527,851
当期末資金収支差額	41,312,487

西台こども館

(収入)	(平成20年度)
措置費収入	143,862,660
補助金収入	41,756,600
寄付金収入	2,995,000
雑収入	2,515,375
利息収入	31,143
繰入金収入	32,427,793
合計	223,588,571
(支出)	
人件費支出	145,229,393
事務費支出	13,982,157
事業費支出	29,545,840
合計	188,757,390
経常活動資金収支差額	34,831,181
(施設整備等支出)	
建物取得支出	5,490,000
構築物取得支出	9,783,500
車輛運搬具取得支出	2,412,670
器具及び備品取得支出	3,884,972
その他の固定資産取得支出	451,180
合計	22,022,322
施設整備等資金収支差額	△22,022,322

当期資金収支差額	12,808,859
前期末資金収支差額	14,627,614
当期末資金収支差額	27,436,473

(単位:円)



編集後記

「夢西台こども館」第1号の発行から早くも1年が経過しました。季節が変わるのは早く、夏の暑さに子ども・職員も負けずに日々を過ごしております。

さて、今年の夏はキャンプやドッチボール大会、夏祭り、板橋の花火大会など夏休みを飽きることなく過ごすことができるイベントが盛りだくさんです。暑い暑いと部屋に閉じこもって涼しいクーラーを体に浴びながらの生活も良いのですが、外に出て汗をかきながら夏を満喫できることを楽しみに感じております。

次回の発行で、さらに私達、こども館の夏休みの出来事をみなさんにお伝えしたいと思います。

編集委員 野呂